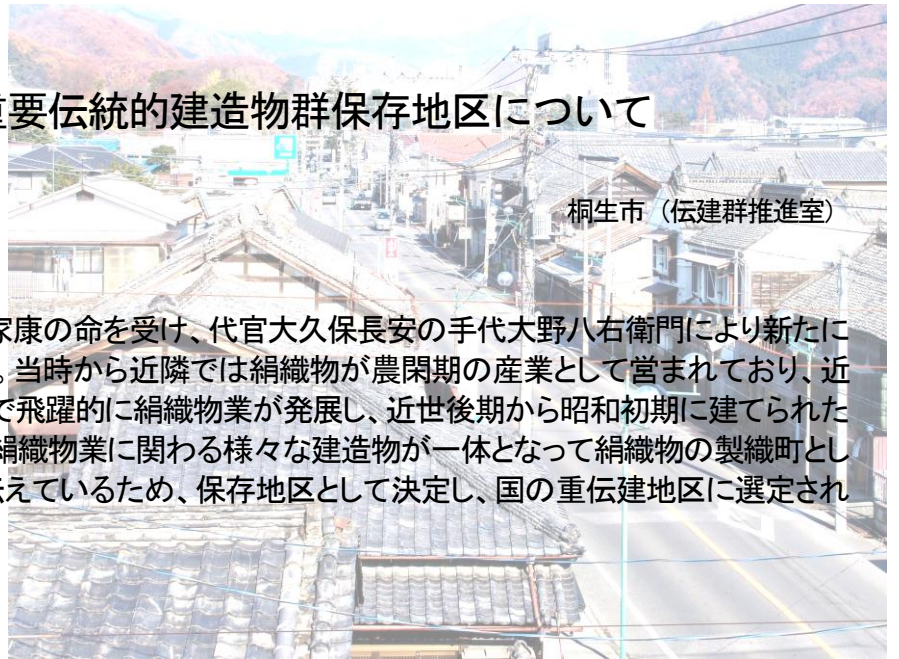


# 桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区について

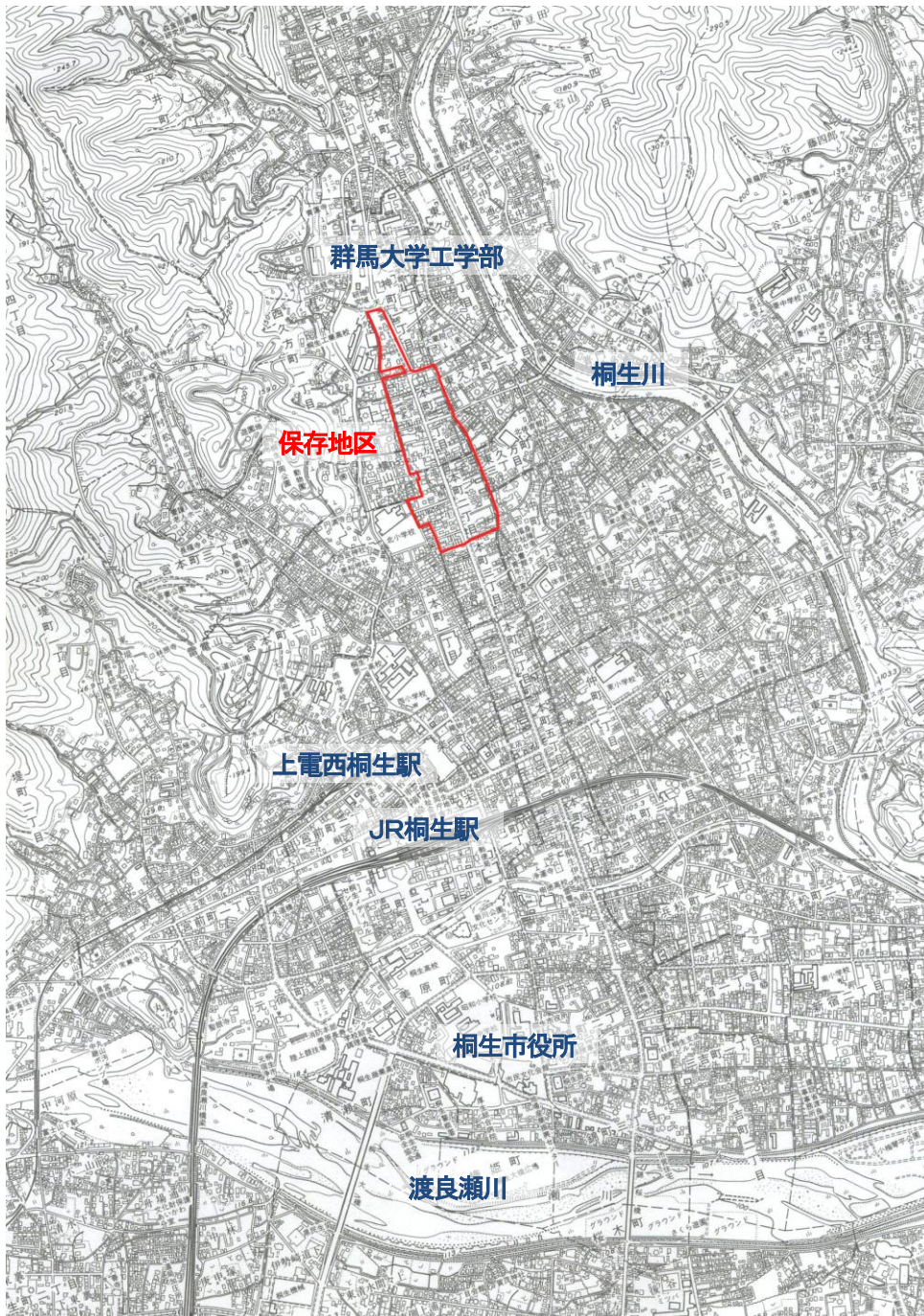


桐生市（伝建群推進室）

## ◆保存地区の概要

当該地区は、天正19年(1591)に徳川家康の命を受け、代官大久保長安の手代大野八右衛門により新たに町立てされた在郷町として発展しました。当時から近隣では絹織物が農閑期の産業として営まれており、近世中期には、新たな技術を導入したことで飛躍的に絹織物業が発展し、近世後期から昭和初期に建てられた主屋や土蔵、のこぎり屋根の工場など、絹織物業に関わる様々な建造物が一体となって絹織物の製織町として特色ある歴史的な環境を今日に良く伝えているため、保存地区として決定し、国の重伝建地区に選定されました。

## ◆保存地区の位置



### 【告示期日】

決定：平成24年1月17日(火)

選定：平成24年7月 9日(月)

### 【名称】

桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区

### 【面積】

13.4ha

(東西約260m、南北約820m)

### 【所在地】

桐生市本町一丁目及び二丁目の全域並びに天神町一丁目の一部

### 【保存物件】

★建築物171棟

〔内訳〕	主屋	88棟
	蔵	52棟
	工場	6棟
	付属屋	16棟
	社寺	9棟

★工作物169件

〔内訳〕	塀	21件
	門	15件
	祠	39件
	井戸	15件
	灯籠	60件
	石碑	3件
	鳥居	4件
	石橋	4件
	その他	8件

★環境物件(樹木)8本

〔内訳〕	クス	3本
	ケヤキ	4本
	イチョウ	1本



◆伝統的建造物（建築物）の位置図



本町一丁目(平田家付近)の町並み



本町二丁目(郵便局付近)の町並み



本町二丁目(有鄰館付近)の町並み



裏通り(本町一丁目)のノコギリ屋根工場



酒屋小路(本町二丁目)の町並み